

水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱

制 定 令和8年4月1日付け 8生流第3302号

(趣 旨)

第1 県は、水稻生産性向上等対策促進事業実施要領（令和8年 月 日付け 生流第 号。以下「要領」という。）に基づいて行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内において、農業者等に補助金を交付するものとし、その交付に関しては、香川県補助金等交付規則（平成15年香川県規則第28号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱に定めるものとする。

(補助率)

第2 第1に規定する要領に基づいて行う事業に要する経費及びこれに対する補助率は、別表に定めるところによる。

(補助金の交付申請)

第3 補助金の交付の申請をしようとする者は、補助金交付申請書（別記様式1）に知事が必要と認める書類を添え、要領第4第1項の規定による事業実施計画の承認申請とあわせて、もしくは承認通知書記載の期日までに知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書を提出するに当たっては、事業実施主体において当該補助金に係る仕入れに係る消費税相当額（補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税に相当する額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する仕入れに係る消費税として控除できる部分の金額と当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税率を乗じて得た金額との合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）があり、かつ、その金額が明らかな場合には、これを減額して申請しなければならない。

ただし、申請時において当該補助金に係る仕入れに係る消費税相当額が明らかでない事業実施主体については、この限りでない。

(補助金の交付決定)

第4 知事は、第3の補助金交付申請書を受理したときは、当該申請に係る書類の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、その適否を審査し、補助金を交付すべきと認めるときは、交付を決定し、その内容を申請者に通知するものとする。

2 知事は、補助金の交付の目的を達成するため必要があるときは、別に交付の条件を附することがある。

(事業の着手)

第5 事業の着手は、原則として、補助金の交付決定に基づき行うものとする。ただし、地域の実情に応じて事業の効果的な実施を図る上で、やむを得ない事情により補助金の交付決定前に着手する場合には、事業実施主体は、あらかじめ県農業生産流通課の適切な指導を受けるとともに、その理由を明記した補助金交付決定前着手届（別記様式2）を知事あてに届け出るものとする。

2 事業実施主体は、事業に着手したときは、速やかに、その旨を文書（別記様式3）によって知事あてに届け出るものとする。

(補助事業の変更)

第6 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助事業」という。）に要する経費の配分及び事業の内容について、別表に掲げる重要な変更をしようとするときは、補助事業を行うもの（以下「補助事業者」という。）は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。

2 前項の承認の申請は、補助金変更交付申請書（別記様式4）を知事に提出して行うものとする。

3 知事は、前項の補助金変更交付申請書を受理したときは、これを審査し又は必要に応じて現地調査等を行い、その適否を決定し、その旨を当該補助事業者へ通知するものとする。

(補助事業の遅延等)

第7 補助事業者は、補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合においては、速やかにその理由及び補助事業遂行状況を記載した書類を知事に提出して、その指示を受けなければならない。

(補助事業実績報告)

第8 補助事業者は、補助事業が完了したときは、その日から起算して30日を経過した日又は補助金の交付の決定のあった年度の2月28日のいずれか早い期日までに、補助事業実績報告書(別記様式5)を知事に提出しなければならない。

2 第3の2のただし書きにより交付の申請をした者は、前項の実績報告書を提出するに当たって、第3の2のただし書きに該当した事業実施主体について当該補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額が明らかになった場合には、これを補助金額から減額して報告しなければならない。

3 第3の2のただし書きにより交付の申請をした者は、1の実績報告書を提出した後において、消費税及び地方消費税の申告により、当該補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額が確定した場合には、その金額(前項の規定により減額した各事業実施主体については、その金額が減じた額を上回る部分の金額)を消費税等相当額報告書(別記様式6)により速やかに知事に報告するとともに、知事の返還命令を受けてこれを返還しなければならない。

(補助金の額の確定)

第9 知事は、補助事業実績報告書を受理したときは、当該書類の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを審査し、適合すると認めたときは、交付すべき補助金の額を確定し、当該補助事業者に通知するものとする。

(補助金の交付)

第10 補助金は精算払とする。ただし、既に着手した事業で必要と認めるものについて、補助金の概算払をすることがある。

2 精算払によって補助金の交付を受けようとする補助事業者は、補助金の額の確定通知を受理した後に、請求書(別記様式7)を知事に提出しなければならない。

3 概算払によって補助金の交付を受けようとする補助事業者は、概算払請求書(別記様式8)に知事が必要と認める書類を添えて、知事に提出しなければならない。

(補助金の返還等)

第11 知事は、規則第9条及び第17条に該当すると認めたときは、補助金の交付の決定の全部若しくは一部を取り消し、又はその決定の内容若しくはこれに付した条件を変更することができる。

2 前項の補助金の交付の決定を取り消し又は変更した場合において、既に補助金が交付されているときは、規則第18条、第19条及び第20条に基づき、その返還を命ずるものとする。

3 知事は、前項の規定により補助金の交付の決定を取り消すときは、その理由を示さなければならない。

(関係書類の保管)

第12 補助事業に係る帳簿及び関係書類は、補助事業実施年度終了の翌年度から起算して5年間整備保管しなければならない。

(その他)

第13 この要綱に規定するもののほか必要な事項については、別に定めるものとする。

附 則

1 この要綱は、令和8年4月7日から施行する。

別表

区 分	経 費		補助率（額）	重要な変更	
	経費名	左の内容		経費配分の変更	事業内容の変更
水稲生産性向上等対策促進事業	水稲生産性向上等対策促進事業	認定農業者、認定新規就農者、営農組織が当該事業を実施するのに要する経費	当該補助事業費に対して定額	当該補助金の増又は20%以上の減	事業実施主体の変更 事業実施内容の変更

別記様式1（第3関係）

〇〇年度水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付申請書

年 月 日

香川県知事 殿

（申請者住所）

（申請者氏名）

〇〇年度において、下記のとおり水稻生産性向上等対策促進事業を実施したいので、水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第3の規定により、次のとおり補助金 円の交付を申請します。

記

第1 事業の目的

第2 事業の内容

(1) 水稻の低コスト生産の促進

取組 区分	水稻作付面積		実施内容		助成対象面積	事業費
			① ()	② ()		
	実施前年度 (年度)	実施年度 (年度)	①	②	③ (①、②のうち、小さい面積)	④=③/10×5千円
	a	a	実施面積 a	実施面積 a	a	円

注) 実施内容は、取組区分でAを選択した場合は①のみ、Bを選択した場合は、①、②のいずれも記載する。

注) 助成対象面積は、a単位とし、1a未満の端数があるときには切捨てにより整理する。

(2) 推進園芸品目の新規導入

水稻作付面積		導入品目		助成対象面積	事業費
		()	()		
実施前年度 (年度)	実施年度 (年度)	①	②	③=①+②	④=③/10×10千円
a	a	作付面積 a	作付面積 a	a	円

注) 助成対象面積は、a単位とし、1a未満の端数があるときには切捨てにより整理する。

(3) 輪作体系モデルの実証

水稻作付面積		助成対象面積 (ブロックローテーション実施面積)	事業費
実施前年度 (年度)	実施年度 (年度)	①	②=①/10×10千円
a	a	a	円

注) 助成対象面積はa単位とし、1a未満の端数があるときには切捨てにより整理する。

第3 事業完了予定（又は完了） 年 月 日

第4 添付資料

- ・事業実施主体の納税証明書
（個人県民税、延滞金及び加算金を含み、地方消費税を除く。市町において定められた様式）
- ・香川県県税事務所所長の交付を受けた県税の納税証明書
- ・生産コスト低減計画実績報告書（参考様式1。第2（1）に取組む場合、実績報告時に添付）
- ・生産・出荷・販売計画実績報告書（参考様式2。第2（2）に取組む場合、実績報告時に添付）
- ・ブロックローテーション実施計画実績報告書（参考様式3。第2（3）に取組む場合、実績報告時に添付）
- ・その他知事が必要と認める書類

年 月 日

香川県知事 殿

(申請者住所)

(申請者氏名)

〇〇年度水稲生産性向上等対策促進事業費補助金交付決定前着手届

〇〇年度水稲生産性向上等対策促進事業実施計画に基づく別添事業について、下記条件を了承のうえ、補助金交付決定前に着手したいので、お届けします。

記

- 1 補助金交付決定を受けるまでの期間内に、天災地変等の事由によって実施した事業に損失を生じた場合、これらの損失は事業実施主体が負担すること。
- 2 補助金交付決定を受けた補助金額が交付申請額又は交付申請予定額に達しない場合においても、異議がないこと。
- 3 当該事業については、着手から補助金交付決定を受ける期間内においては、計画変更は行わないこと。

4 概要

事業名	取組区分	事業量	事業費	着手予定 年 月 日	完了予定 年 月 日
			円		
計					

5 理由

香川県知事 殿

(申請者住所)

(申請者氏名)

年度水稻生産性向上等対策促進事業着手届

年度において、水稻生産性向上等対策促進事業を下記のとおり着手したので、お届けします。

記

事業名	取組区分	事業量	事業費	着手 (予定) 年月日	完了 (予定) 年月日	備考
水稻生産性向上等 対策促進事業						
計						

〇〇年度水稲生産性向上等対策促進事業費補助金変更交付申請書

年 月 日

香川県知事 殿

（申請者住所）

（申請者氏名）

〇〇年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定の通知があった水稲生産性向上等対策促進事業について下記のとおり変更したいので、水稲生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第6の2の規定により申請します。

記

注) 記の記載要領は、別記様式1の記の様式に準じるものとする。この場合において、同様式中「事業の目的」を「変更の理由」と書き換え、補助金の交付決定により通知された事業の内容及び経費の配分と変更後の事業の内容及び経費の配分とを容易に比較対照できるように変更部分を二段書きとし、変更前を括弧書きで上段に記載すること。

ただし、当該変更の対象外の事項については省略する。

また、添付資料は、交付申請書に添付したものに変更があった場合のみ提出すること。

〇〇年度水稻生産性向上等対策促進事業実績報告書

年 月 日

香川県知事 殿

（申請者住所）

（申請者氏名）

〇〇年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定の通知があった水稻生産性向上等対策促進事業について下記のとおり実施したので、水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第 8 の規定によりその実績を報告します。

記

注) 記の記載要領は、別記様式 1、2 の記の様式に準ずるものとする。
また、添付書類は、補助金交付申請書又は補助金変更交付申請書に添付したものに変更がある場合のみ提出すること。
補助金の交付決定により通知された事業の内容及び経費の配分から変更がある場合は、変更後の事業の内容及び経費の配分とを容易に比較対照できるように変更部分を二段書きとし、変更前を括弧書きで上段に記載すること。
ただし、当該変更の対象外の事項については省略する。

〇〇年度仕入れに係る消費税等相当額報告書

年 月 日

香川県知事 〇〇〇〇 殿

（申請者住所）

（申請者氏名）

〇〇年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定の通知のあった水稻生産性向上等対策促進事業費補助金について、水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第8の3の規定により、下記のとおり報告します。

記

1	水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第9の補助金の額の確定額	金	円
	（〇〇年 月 日付け 第 号による額の確定通知額）		
2	補助金の確定時に減額した仕入れに係る消費税等相当額	金	円
3	消費税及び地方消費税の申告により確定した消費税等相当額	金	円
4	補助金返還相当額（3－2）	金	円

注）事業実施主体別内訳資料、その他参考となる資料を添付すること。

別記様式7（第10の2関係）

請 求 書

（アラビア数字で記載し、頭書きに¥の記号を付し、訂正しないでください。）

金額		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

ただし、〇〇年度水稻生産性向上等対策促進事業費補助金として、上記の金額を精算払いによって交付されたく、水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第10の2の規定により請求する。

年 月 日

香川県知事 〇〇 〇〇 殿

住所

(フリガナ)

氏 名

支払の方法	口座振替払	銀行 (支)店										
		預金 種目	当座 □	普通 □	口座 番号							
		(フリガナ) 口座名義										

責任者所属・氏名

担当者所属・氏名

連絡先電話番号

- 1 口座振替払は、預金口座のある金融機関の店舗名、口座番号及び口座名義を記載すること。
なお、預金種目欄にあつては、該当する預金種目の□箇所にレ印を付すこと。
- 2 請求者と受領者が委任により異なる場合は、受領権限についての委任状を添付すること。
- 3 請求者の押印（個人印又は法人・団体代表者印）がある場合は、責任者及び担当者の氏名並びに連絡先の記載は不要。
- 4 責任者は、役職に関わらず、請求書に係る事務を担当する部門の長を記載すること。
- 5 担当者は、請求書に係る事務を担当する部門の者を記載すること。

〇〇年度水稻生産性向上等対策促進事業費補助金概算払請求書

年 月 日

香川県知事 ○○○○ 殿

(申請者住所)

(申請者氏名)

〇〇年度水稻生産性向上等対策促進事業に係る事業費補助金〇〇〇〇円を下記により概算払によって交付されたく、水稻生産性向上等対策促進事業費補助金交付要綱第10の3の規定により請求します。

記

1 事業の進捗状況

年 月 日現在

取組区分	補助金 (A) 円	既受領額 (B)		今回請求額 (C)		残額 (A)-(B)-(C)		事業完了 年 月 日	備考
		金額 円	出来高 %	金額 円	〇月〇日 まで の 出来高 %	金額 円	〇月〇日 まで の 出来高 %		

2 支払方法

口座振替払			
金融機関名		口座番号	
(銀行名)	(支店名)	<input type="checkbox"/> 1 当座 <input type="checkbox"/> 2 普通 (フリガナ) 口座名義人	

責任者所属・氏名 _____

担当者所属・氏名 _____

連絡先電話番号 _____

※請求者の押印（個人印又は法人・団体代表者印）がある場合は、責任者及び担当者の氏名並びに連絡先の記載は不要。

生産コスト低減計画実績報告書（再生二期作の実施）

1. 再生二期作の作付実績

品種名	区分	作付面積		移植時期	収穫時期	コンバイン 収穫方法※1	刈高	収穫量	出荷方法※2
		計画	実績						
	1期作目	a	a				cm	t	
	2期作目	a	a					t	
	1期作目	a	a				cm	t	
	2期作目	a	a					t	
合計	1期作目	a	a					t	
	2期作目	a	a					t	

※1 コンバインの種類（自脱型、汎用型）と、自脱型にあつては条数、汎用型にあつては馬力を記入してください。

※2 J A出荷、自家販売、直売所等、その他

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

必須項目	①収穫量増加による単位当たり生産コストの低減
<input type="checkbox"/>	②その他（具体的に記入してください。）

※計画時に記載の項目に✓を記載し、必要事項を記入してください。

(2) 取組みによる（1）の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、評価の理由の欄にその判断根拠を定量的（10a 当たり労働時間〇〇時間減など）に記載してください。

（3）実施に当たり苦労した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（直播栽培の実施）

1. 直播栽培の実績

品種名	区分 (乾田・湛水)	播種方法 (条播・点播・ その他)	耕起等の有無	種籾の コーティング	栽培面積	
					計画	実績
					a	a
					a	a
					a	a
					a	a
合計					a	a

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

※計画時に記載の項目に✓を記載し、必要事項を記入してください。

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（新たな品種の導入）

1. 新たな品種の導入実績

項目	対象品種		対象外品種		小計	対象品種への 転換面積
	()	()	()	()		
計画	a	a	a	a	a	a
実績	a	a	a	a	a	a

注) 対象品種の () には、品種名を記載する。

注) 対象品種は、「おいでまい」、「あきさかり」、「にじのきらめき」、「にこまる」とする。

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①収穫量増加による単位面積当たり生産コストの低減
<input type="checkbox"/>	②品質向上に伴う販売単価向上による単位面積当たり生産コストの低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

※計画時に記載の項目に✓を記載し、必要事項を記入してください。

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦労した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・生産・出荷した品種が確認できる資料（出荷伝票、検査結果等）の写し
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（疎植栽培の実施）

1. 疎植栽培の実績

	主食用米面積	疎植栽培面積		
計画	a	a		
実績	a	a		
取組品種				
移植密度	いずれかに○ (株/坪・株/m ²)		慣行比 ※2	%
慣行栽培の移植密度	いずれかに○ (株/坪・株/m ²)		/	
(出典) ※1				

注) ※1には慣行栽培の移植密度で参考にした資料（しおり等）を記入してください。

注) ※2は、慣行比で80%以下となる必要があります。

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

※計画時に記載の項目に✓を記載し、必要事項を記入してください。

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間○○時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦労した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・「2（1）①労働人数・労働時間の低減」を選んだ場合は、作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（乳苗移植栽培の実施）

1. 乳苗移植栽培の実績

	主食用米面積	乳苗移植栽培面積		
計画	a	a		
実績	a	a		
育苗日数		日	育苗箱数	箱
慣行栽培の育苗日数		日		
(出典) ※1				

注) ※1には慣行栽培の移植密度で参考にした資料（しおり等）を記入してください。

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

必須項目	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかのにを記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦労した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

(3) 実施に当たり苦労した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※(2)の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・ 土壌分析及び生育診断の実施結果が分かる資料
- ・ 堆肥施用については、作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）および、購入の場合は購入したことが確認できる資料（購入伝票等）の写し
- ・ 「2(1)②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・ 「2(1)③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（プール育苗の実施）

1. プール育苗の実績

品種名	プール育苗		作付面積	
	設置面積	育苗苗箱数	計画	実績
	a	箱	a	a
	a	箱	a	a
	a	箱	a	a
	a	箱	a	a
合計	a	箱	a	a

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（流し込み施肥の実施）

1. 流し込み施肥の実績

	主食用米面積	流し込み施肥 実施面積
計画	a	a
実績	a	a
実施の方法 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 液体肥料または固体肥料を溶かした肥料溶液を灌漑水と流し込む <input type="checkbox"/> 固形肥料を水口に設置し、徐々に溶かして灌漑水と流し込む <input type="checkbox"/> その他（ ）	

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる(1)の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（育苗箱全量施肥の実施）

1. 育苗箱全量施肥の実績

	計画	実績
主食用米面積	a	a

育苗箱数	箱
育苗箱全量施肥の方法 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 肥料と床土を均等に混和 <input type="checkbox"/> 育苗箱に層状に施肥

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる（1）の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（農薬の苗箱播種同時処理の実施）

1. 農薬の苗箱播種同時処理の実績

	主食用米面積	
計画		a
実績		a
育苗箱数		箱
使用農薬名		

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる (1) の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産コスト低減計画実績報告書（知事特認技術の実施）

1. 具体的な取組内容

(1) 取組みの名称

--

※県から承認を受けた取組みの名称を記載してください。

(2) 実施面積

計画	ha	実施	ha
----	----	----	----

(3) 地域特認技術に関して取り組んだ内容等

--

2. 生産コスト低減効果の評価

(1) 目標としていた生産コスト低減効果等

<input type="checkbox"/>	①労働人数・労働時間の低減
<input type="checkbox"/>	②資材費の低減
<input type="checkbox"/>	③その他（具体的に記入してください。）

(2) 取組みによる（1）の目標に対する評価

<input type="checkbox"/> コストが低減された	<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> コストが増加した
(評価の理由)		

※コストの増減について、いずれかの□に✓を記載し、その判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に評価の理由の欄に記載してください。

（3）実施に当たり苦勞した点や次作に向けた改善点及び今後のコスト低減に関する方針

--

※（2）の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・「2（1）②資材費の低減」を選んだ場合は、事業実施年度および実施前年度の資材費が分かる資料
- ・「2（1）③その他」を選んだ場合は、そのコスト低減効果の評価内容が確認できる資料

生産・出荷・販売計画実績報告書

1. 生産・出荷・販売の実績

(1) 生産・出荷の実績

	品目	生産面積	出荷数量	出荷期間
計画		a	トン	
実績		a	トン	

(2) 販売実績（該当項目に✓し、具体的な出荷先等を下欄に記載してください。）

計画		実績	
<input type="checkbox"/> 出荷先 (JA, 卸売会社等)	<input type="checkbox"/> 販売先 (小売店等)	<input type="checkbox"/> 出荷先 (JA, 卸売会社等)	<input type="checkbox"/> 販売先 (小売店等)

2. 取組みに対する評価

※判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に記載してください。

3. 次作に向けた改善点や今後の方針

※2の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・作業日誌等の写し（作業内容等が確認できるもの）
- ・生産・出荷したことが確認できる資料（出荷・販売伝票等）の写し

ブロックローテーション実施計画実績報告書

1. 作付実績（ブロックローテーションを実施したブロックの□に✓を付けてください。）

ブロック	区分	事業実施前年度 (年度)	事業実施年度	
			計画	実績
□ア	品目			
	本地面積	ha	ha	ha
□イ	品目			
	本地面積	ha	ha	ha
□ウ	品目			
	本地面積	ha	ha	ha
□エ	品目			
	本地面積	ha	ha	ha
□オ	品目			
	本地面積	ha	ha	ha
ブロックローテーション 実施面積合計				

□カ	不作付地面積	ha	ha	ha
----	--------	----	----	----

区分ごとの作付け予定地

区分	ア	イ	ウ	エ	オ
ほ場 地番					

※ 行が不足する場合は、適宜追加するか、別紙にて整理して提出してください。

2. 取組みに対する評価

※判断根拠を定量的(10a 当たり労働時間〇〇時間減など)に記載してください。

別添様式（参考様式3関係）

3. 次作に向けた改善点や今後の方針

※2の内容を踏まえて記載してください。

【添付書類】

- ・区分ごとの位置関係が分かる地図